

# 神は純粋な心を愛する

グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ

## 抜粋6

ある時2人の友人が通りを歩いている、1人が新聞を買うために売店で立ち止まりました。彼は売り子に丁寧に礼を言いました。売り子は何の言葉もなく、冷たく彼を見返しました。「なんて機嫌が悪い男なんだ」と、別の1人が言いました。

「ああ、彼は毎晩あんなふうだよ」と、その友人は言いました。

「それなら、なぜ君はあいつにそんなに丁寧なんだい。どうして新聞を買うためにここに来続けるんだ」

すると彼は答えました。「どうして私の振る舞い方を彼に決めさせなければならないんだい」

あなたが他人に自分の行動を決めさせている時、それは明らかに尊敬の欠如を示すものです——これは、あなたの能力に対する尊敬の欠如ではありません。なぜなら、あなたは依然として歌い、踊り、仕事をするからです。そうではありません。それはあなたが、あなた自身の心の光を尊ばず、自分の中に住んでいる神を信じていないことを示しているのです。

どうしてこのようなことが起こるのでしょうか。どうして人は自分自身、神、創造物、自然に対して敬意を失ってしまうのでしょうか。聖書にこう書かれています。「欺くことをする者は、我が家の内に住むことができない。偽りを言う者は、我が面前に立つことはできない」



© 2022 SYDA Foundation®. 著作権所有。